

## 明治時代の伊能大図模写図について

国土地理院 菱山剛秀

### 1. 明治初期の伊能図の模写

明治政府は、近代的な測量に基づく全国の地図整備に着手するが、地図整備には長い期間を要するため、初期の段階では既存の地図を利用し、応急的な地図作成を実施した。

これらの地図の骨格として利用されたのが実測に基づいて作成された伊能図である。

文政 4（1821）年に幕府に上呈された伊能図は、明治政府に引き継がれたが、明治 6（1873）年の皇居の火災で焼失してしまった。

しかし、工部省測量司が明治 5（1872）年に伊能家に残されていた控図を借用して模写を行ったほか、陸軍参謀本部が明治 9（1876）年から、海軍水路部が明治 10（1877）年から、それぞれこの控図の模写を行い、初期の地図整備等に利用した。

### 2. 模写図の経緯

これらの模写図は、陸軍参謀本部から引き継いだ陸地測量部が、明治 11（1878）年に軍管図（1/216,000）明治 17（1884）年から輯製 20 万分 1 図の作成に利用し、海軍水路部は、明治 14（1881）年の初代水路部長柳権悦による「全国海岸測量 12 ヶ年計画」立案の基礎資料として利用した。

その後、これらの機関において保管されていたが、水路部が保管していた模写図は、大正 12（1923）年の関東大震災の際、焼失してしまった。この震災により、伊能家から政府に献上され東京帝国大学が保管していた「控

図」もまた焼失した。

一方、陸地測量部が保管していた模写図は焼失を免れ、昭和 18（1943）年 7 月の内部資料（研究蒐録「地図」）により、大図を含む 5 種類の伊能図の存在が確認されているが、戦後、大図と伊能北海道図の所在が不明となり、測量の原図ともいふべき大図の全容が分からなくなっていた。なお、伊能北海道図については、現在も類似のものが残されておらず、どのようなものであったのか不明である。

研究蒐録「地図」の記録

伊能大図（写本）2 1 4 枚

伊能中図（写本）6 枚

伊能小図（明治 4 年版）一部 4 折

伊能北海道図（北海道における各宿場の大縮尺図）1 巻

伊能江戸実測図（写本）二枚 1 組

注： は、現在国土地理院に存在、ただし、伊能小図は、開成所発行の「官板実測日本地図」

### 3. 明治初期の伊能図に関する伊能家書簡

伊能家に残された書簡の中に国に献上するまでの記録が残されている。

（伊能家書簡）

明治五年十一月（二通）

地図借用申込書及び借用証 測量司 伊能源六宛

実測製図借用につき、当司官員岩崎好正派遣当人へ渡されたし（封入り）

明治五年十一月二十八日（一綴）  
測量司御役所へ伊能勘解由著述御用立御届書  
（付 借用目録）  
第五大区小五区香取郡佐原村伊能源六（景文）・戸長伊能茂左衛門  
中山新治県参事・大木新治県権参事宛  
曾祖父伊能勘解由著述の地図、測量司御役所にて不残御入用の由にてお渡し、請取証受領のお届け

明治六年八月十八日（一枚）  
請取証 新治県酒井捨彦・木村政信  
第五大区小五区副戸長伊能茂左衛門宛  
沿海地図三部請取り

明治七年八月二十三日（一通）  
新治県賞状 佐原村伊能源六宛明治七年八月二十三日 一通  
実測図献納奇特につき、賞金三百円下賜

### 3. 伊能大図の発見

明治初期に工部省測量司が模写し、その後内務省地理局へと引き継がれたと思われる氣象庁が所蔵していた伊能大図 43 面が平成 9（1997）年に発見されたのに続き、平成 13（2001）年 3 月にワシントンの米国議会図書館で伊能忠敬研究会の渡辺一郎氏夫妻により、伊能大図の模写図 207 枚が発見された。

しかし、この図がどのような経緯で米国に渡ったのか、また誰が模写したもののなのかについては、当該図書館にも記録が無く、これまで不明のままになっていた。

この大図の中に国土地理院に残されていた伊能中図に貼られて説明と同様の貼紙が確認され、明治初期に陸軍が模写したものである

可能性が高いことが判明した。

（1）米国議会図書館所蔵の伊能大図（図 1）  
米国議会図書館に所蔵されている 207 枚の伊能大図のうち、江戸が描かれている第 90 号に、この地図の説明を記した貼紙がある。

大図第 90 号の貼紙（図 2）の記述  
一伊能氏大圖（寫）梯尺 三萬六千分一  
伊能氏測量ノ傳記八世人ノ知  
悉スル處ナルヲ以テ畧ス

（2）国土地理院所蔵の伊能中図（図 3）  
国土地理院が陸地測量部から引継いだ伊能中図 6 面中の関東図幅にこの地図の説明を記録した貼紙がある。

関東図幅の貼紙（図 4）の記述  
一伊能氏中圖（寫）梯尺二十一萬六千分一  
大圖ヨリ縮製シ多少省畧スル  
所アルモ特色トスル所八遠測  
セル主要山岳又島嶼八朱線ヲ  
以テ方位線ヲ劃シ且経緯線ヲ  
施シアリ而シテ本圖ハ明治七  
年以降陸軍参謀局ニ於テ模寫  
セルモノ

（3）国土地理院所蔵の伊能小図（図 4）  
この図は、江戸幕府が航海用の正確な沿海地図を必要とし、伊能小図（文政 4 年，1821）をもとに幕府開成所が発行した版行図である。

木版刷・彩色（3 色）縮尺 432,000 分の 1、樺太を含む全 4 輔で、慶応 3 年（1867 年）作製・発行されたものである。

樺太図幅の貼紙（図 5）の記述  
一伊能氏小図（刊行物）梯尺四十三萬二千分一  
中圖ヲ二分一ニ縮製セルモノ  
幕末各藩ノ海軍傳習ニ當リ唯  
一ノ燈明台ト稱セシ由明治初

年開成學校（后大學南校今ノ帝國大學ノ前身）ニ於テ上梓刊行セシモノト云

作業に使用したと思われる方眼（図 7、図 8）が見られることなどから、両図は同じところで模写され、利用された後、一緒に保管されていたと考えるのが自然である。また、国土地理院所蔵の伊能中図には、「本圖八明治七年以降陸軍參謀局ニ於テ模寫セルモノ」と模写を実施した時期と機関が明記されている。

4 米国議会図書館所蔵の伊能大図の出所  
米国議会図書館所蔵の伊能大図と国土地理院所蔵の伊能中図を比較すると、これらの図に貼られた説明（図 2、図 4、図 6）の記述方法、筆跡が同じであること、伊能図の特徴の一つである隣図との接合部分に見られるコンパスローズの記載が無いこと（図 5、図 6）

以上のことから、両図は、陸軍參謀局が明治初期（「陸地測量部沿革誌」によれば、明治 9 年に模写に着手）に模写した図であることが确实と考えられる。

#### 参考文献

陸地測量部：大正 11（1922）年 5 月、陸地測量部沿革誌、第一編 維新前後ヨリ陸地測量部成立ニ至ル p8-p9

陸地測量部総務課：昭和 18（1943）年 7 月、伊能忠敬先生測量叢話、研究蒐録「地図」p41-p49

今井健三：平成 10（1998）年 4 月、水路部所蔵の伊能図謄写図について、「水路」第 105 号、p6-p11

アメリカ伊能大図展実行委員会編：平成 16（2004）年 4 月：アメリカにあった伊能大図とフランスの伊能中図

鈴木純子：平成 19（2007）年 7 月、海洋情報部所蔵「伊能図謄写図」の調査について、「水路」第 142 号、p8-p15

国立国会図書館：平成 19（2007）年、大日本沿海輿地全図、特別展示、国立国会図書館ホームページ、<http://www.ndl.go.jp/exhibit/50/html/catalog/c072.html>



図 1 米国議会図書館所蔵の伊能大図第 90 号

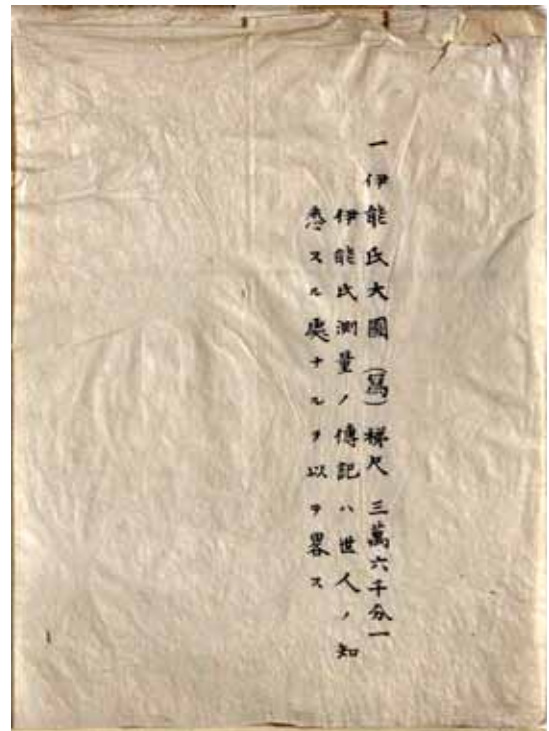


図 2 米国議会図書館所蔵の伊能大図第 90 号貼紙



図 3 国土地理院所蔵の伊能中図「関東」

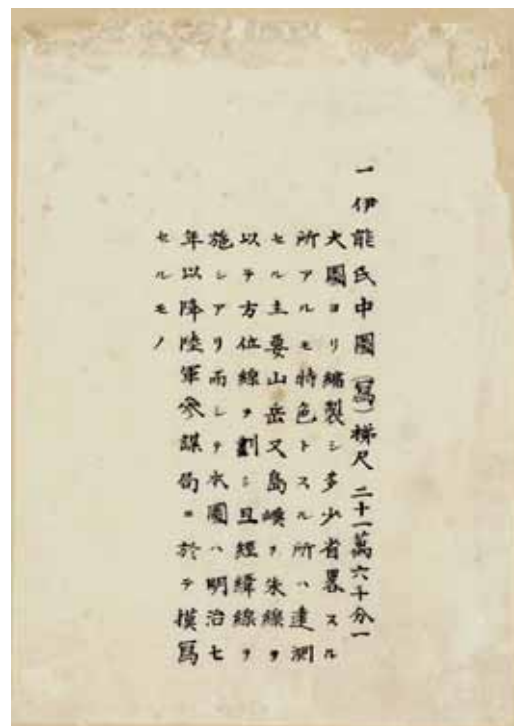


図 4 国土地理院所蔵の伊能中図「関東」貼紙

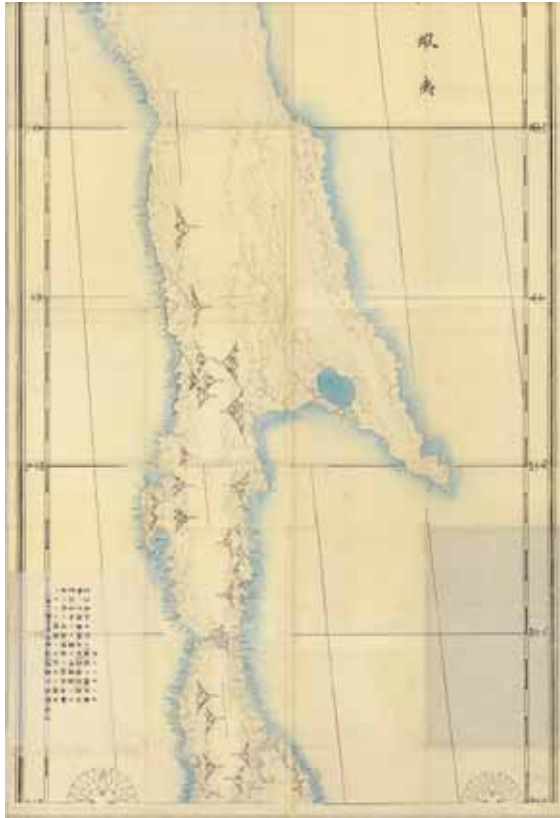


図 5 官板実測日本地図「樺太」(部分)

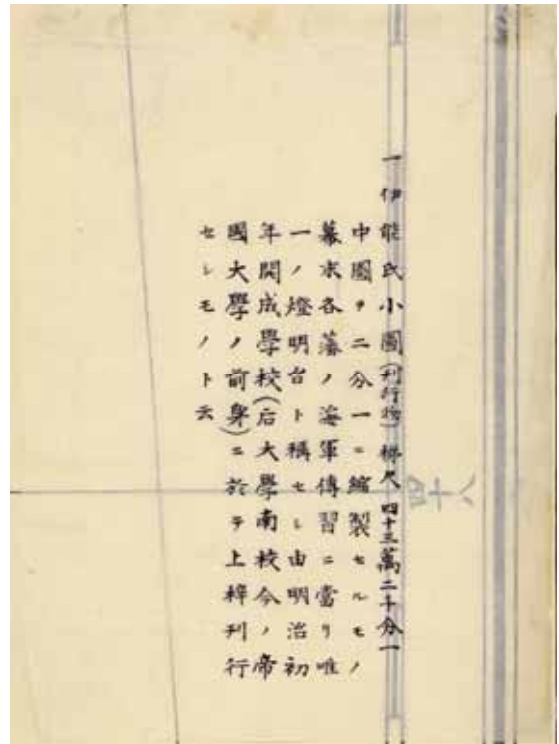


図 6 官板実測日本地図「樺太」貼紙



図 7 気象庁所蔵伊能大図第 100 号



図 8 海洋情報部所蔵伊能大図 144 号



図 9 フランス イブ・ペレイ氏所蔵伊能中図「関東」

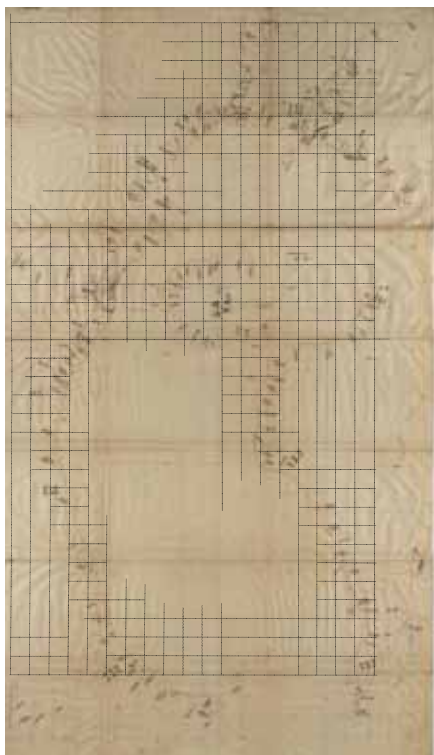


図 10 米国議会図書館所蔵の伊能大図第 209 号の方眼 図 11 国土地理院所蔵の伊能中図「関東」(部分)の方眼